



初めてきこえにくい人と
接するとき

基礎コース

長崎県立ろう学校
自立活動部 地域支援班
2020.5 vol.1



きこえにくい人と接するとき気をつけて欲しいこと

きこえにくい方に対して、どのような点に気をつけて接するとよいのでしょうか？今回は、気をつけることと、その理由について、お話します。

「きこえにくい」とはどういうことなのでしょうか？

- 周りの音がきこえない
- 人の声が聞こえないから話ができない などなど



きこえ方は人それぞれ異なるので、一概にはいえませんが、物理的に『聞こえない』ことをイメージされると思います。

「きこえにくい」人は、

1. 物理的に音が聞こえにくい
 2. 日本語を聴き取ることが難しい
 3. 話の内容を理解できないことがある
- という不自由さがあります。

そこで、「きこえにくい」人と接する皆さんに、次のことに気をつけて接してほしいと思います。

1. 音が鳴っていることを教えてください。

車のクラクションや放送に気づかないことがあります。事故や災害などの緊急放送に気づかなかったり、放送が聞こえづらかったりすることがあります。どちらも安全のため、知りたい情報の一つです。



音が鳴っていること、その意味を教えてください。また、放送の内容を伝えてください。

人によって高い音が聞こえづらいため、自分の補聴器や身につけている機器の「ピー」と鳴っている音が聞こえないことがあります。

本人が気づけるように教えてください。

2. 話すときは、顔を向けて話してください。

補装具（人工内耳や補聴器）をつけているので、「聞こえているでしょう」と言われることがよくあります。しかし、教室での授業のように全体に向かって話しているときなど、誰に話しているか分からない状態だと、集中して聞いていないことがあります。「聴く」ことに集中できないと、話の内容をきちんと把握できないこともあります。



離れたところや後ろから声をかけられていても、気づかないこともあり、「無視した」と言われてしまうこともあります。

きこえにくい人は、話し手の方に顔を向けることで、『聴く』準備が整います。口の形や表情は、大切な情報源の一つです。ぜひ、顔を見せて話してください。

3. わからないときは、別の方法で伝えてください。

周りが騒がしかったり、初めて聞くことだったりするとうまく聴き取れず、理解できないことがあります。「こんな言葉だな、こんな話の内容だな」と推測しながら話を聴くことがあるため、すべて聞き取れていないことも多いのです。

また、人によっては高い音（カ行やサ行、ハ行の音など）が聞こえづらいため、「き」と「し」の聞きわけが難しいなど、聞き間違いやすい音があります。例えば、数字でも「1（イチ）」と「7（シチ）」を間違えると、伝わる意味が変わってしまいます。

空書（空に指で書く）や何かに文字を書いたり、指文字を使ったりして、正しい言葉を伝えてください。初めての言葉は文字で書いて伝えることで、正しく伝えることができます。



1. 音が鳴っていることを教えてください。
2. 話すときは、顔を向けて話してください。
3. わからないときは、別の方法で教えてください。

まずは、この三つのことに気をつけて、接してみてください。
きこえにくい人も、周りの人も気持ちよく過ごすことができますと思います。